



TITLE:

獨逸ノ自治制ニ就キテ

AUTHOR(S):

財部, 靜治

CITATION:

財部, 靜治. 獨逸ノ自治制ニ就キテ. 經濟論叢 1915, 1(1): 102-110

ISSUE DATE:

1915

URL:

<https://doi.org/10.14989/126866>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

經濟論叢

號一第

卷一第

論說

●貧富問題(二)

●でうゐつゝひゆーむノ經濟學說(二)

●地代ノ性質ニ就テ

●地方財政ノ調整

雜錄

●減債基金ト鐵道資金

●獨逸ノ自治制ニ就テ

●戰爭ト社會問題

●津村博士ノ國民經濟學原論ニ就テ

雜報

●租稅ノ新傾向

●佛國ノ外國放資

●佛國植民地ノ現勢

●著名ノ婦人ニ關スル統計の研究

●麥ノ收穫ト米價

●最近人口靜態統計

●日本經濟叢書第十二卷ヲ讀ム

●和田垣教授在職二十五年祝賀

●Robert Meyer 逝ク
●びにーるゝるわ・ぼーりゆー氏ノ陳亡

法學博士

田島 錦治

法學博士

福田 德三

法學博士

戸田 海市

法學博士

神戶 正雄

法學博士

小川 郷太郎

教授

財部 靜治

講師

米田 庄太郎

法學博士

河上 肇

法學博士

神戶 正雄

助教授

小川 郷太郎

法學博士

山本 美越乃

講師

河上 肇

法學士

高田 保馬

法學士

大山 壽

法學博士

本庄 榮治郎

法學博士

神戶 正雄

法學博士

小川 郷太郎

法學博士

織田 萬

獨逸ノ自治制ニ就キテ

教授 財部 靜治

昨年ノ夏歐洲ノ戰亂起リシヨリ獨逸ヲ避ケテ英京ニ入ルト共ニ浮ヘル感想アリ官僚主義國家主義昌シナリトセラルル獨逸ノ社會及諸制度ニハ自由主義民政主義ノ長所ヲ伺ハシムルモノアリ自由ノ本土トセラルル英國ニアリテハ却リテ因習ニ捉ハレ必スシモ自由ノ實ナキモノ多シト感セルハ乃チ之ナリ特ニ初メヨリ格別研究ヲ遂クルノ意ナクシテ見聞シ得タル諸都市自治ノ實況ニツキ二國ノ事情ヲ比較シテ深ク此感想ヲ養ヘリ之ト共ニ輓近社會政策社會增福事業ノ振興トナリ各地方特別ノ事情ニ適應シテ是等ノ施設ヲ行フノ必要増シ都市活動ノ範圍増大セルニ從ヒ活力ニ富ミ事業能力ニ長セル自治體存在ノ必要ヲ告グルコトトナレルカ現今カカル自治體ノ特色ヲ發揮セルモノハ必スシモ古來自治ヲ以テ誇レル英國ニ之ヲ求ムヘキニ非スシテ寧ロ獨逸ニ求ムヘシトハ久シク養ヘル感想ナリカクテ獨逸ノ自治特ニ都市ノ自治ヲ研究セントスルノ念慮ヲモ起セルカ恰モ英人ニシテ多年間ノ獨逸研究者トシテ世ニ知ラレ開戦後獨逸ニ關スル他ノ著述ヲモ發表セルWilliam Harbutt Dawson カ『獨逸ノ都市生活及市政』ト題セル著書ヲ公刊セルヲ見ル素ヨリ秩序整然理義徹底セル參考書トシテハ別ニ獨逸人ノ著書中ニ求ムヘキモノアリ。又原著者ハ必スシモ獨逸ニ對スル批評家トシテ公平深刻ナリトスルヲ得ヌ獨逸ノ諸著書ニ親シムコト多キカタメニ自ラ獨逸ノ諸制度ヲ辯護スルガ如キ嫌ヒナシトセサルモ英國人トシテ獨逸都市ノ自治ヲ評論シ特ニ英國ノ事情トノ比較ニ努メツツ論述セル點興味多キヲ以テ同書中自治權ニ關スル一般論ヲ試ミタル一章ノ大意ヲ摘錄紹介スルコトトセリ前後諸項ニ分チテ議セル所ヲ妄リニ一括シ又省略セルモ

ノモ多キカタメニ原著者ノ主旨ヲ誤リ傳フル點ナキヲ保セス又法制ノ研究トシテハ散漫ナリト雖モ今之ヲ問ハス讀者幸ヒニ諒セラレンコトヲ乞フ。

獨逸諸都市自治行政ノ實際ニヨルニ其特色トシテ自治ノ當局者ニヨリ行使セラルル權限極メテ廣ク又是等ノ諸權限ヲ隨時ニ擴張シテ變化セル事情ニ適應セシムルノ望容易ニ充タサルハ傍觀者ノ感銘ヲ引クヘキ點ナリ英國ノ學者トシテ是等諸權限ノ及ヘル範圍如何ヲ詳カニセントスル者ハ何ノ法律又ハ諸法令中ニ是等ニ關スル特別規定アルカトノ疑問ヲ第一ニ發スヘキモ其問題ヲ解決セントシテ夫等法規ヲ搜スモ徒勞ニ歸スヘシ蓋シ獨逸諸都市ノ諸行政權ハ英國ニ於ケルカ如ク之ヲ特別ノ諸法規中ニ規定シ其規定ニヨリ國家カ一一形式的ニ諸都市ニ委任スルカ如キコトナケレハナリ普國諸都市シ憲法視スヘキ所謂都市條例 *Städteordnung* ヲ通讀セル者ハ其起草者ニ諸都市ノ盡スヘキ諸義務行使スヘキ諸權限ヲ詳細ニ限定スルノ意ナカリシコトヲ發見セン即チ是等諸條例中定ムル所ハ地方自治ノ當局者ニ地方公共ノ事項ニ關スル普通行政ヲ行フノ任務ヲ委ヌルニアリ從ヒテ隨時一ノ公共事項視スヘキモノ起ラハ當然市政ノ範圍ニ歸スルコトトナル換言スレハ右都市條例起草者ハ不當ノ諸權限ヲ初メヨリ設ケテ未來ヲ拘束スルカ如キ弊ニ陷ルコトヲ避ケシカ其結果ヨリセハ恰モ後世ニ於ケル都市ノ大膨脹ヲ豫想セルカ如ク思ハル現ニ四十餘年前都市膨脹ノ新時期開カルルヤ獨逸諸都市ノ政廳ハ右根本規定ノ下ニ新ニ起レル諸責任ヲ盡スノ用意モアリ實力ヲモ具有シ其間英國普通ノ自治市ニツキ半世紀間ニ二回モ其必要ヲ告ケシカ如キ行政上ノ根本改革ヲ要スルコトナカリキ。

新事情ニ處シテ示サル應變性適應性ハ獨逸都市行政ノ特色トシテ世ニ無比ナリ自治ノ當局者

ハ其自治體ヲ治ムルノ責任アルモ何等ノ施政ニ當リ何ノ權限ニ始マリ何ノ權限ニ終ルヘキカヲ指定サルルコトナシ普通法規ニヨリ課稅權ヲ授ケラルルモ課シ得ヘキ一切ノ租稅ヲ其法規中ニ列舉スルコトナシ素ヨリ傳習的ナル租稅ヲ幾種カ掲クルモ之ヲ課スルト課セザルトハ勝手ナリ又是等ノ租稅收入ニヨリ不足ヲ告クル場合ノタメニハ他ノ租稅ヲ新徵シ又ハ發案スルノ權能認メラル實ニ自治體ハ特定ノ制限内ニ於テ任意ノ租稅ヲ選定シ賦課シ得ヘシトスルハ獨逸自治行政ニ於ケル根本原則ノ一タリ同様に又當局者ハ市ノ財産ヲ管理スルノ責任アルモ取得シ所有スヘキ財産ノ種類及額ニツキ制限アルコトナシ試ミニ輓近ノ諸都市ニ於テ起リ易キ土地課稅法改良問題ノ如キ之ヲ獨逸ニツキテ察スルニ其國カ由來傳説上慣習思想上特ニ保守的ナリトセラレ又財産權ノ尊重保護ハ英國ニ於ケルト同様鄭重ナリトナシ難キニ拘ハラス英國知名ノ政治家カ今日尙不可能トシ或ハ不正ナリトセル不動産稅改革假令ハ不動産ノ賣買讓渡ニ對スル課稅土地增價稅賦課ノ如キ獨逸ニアリテハ諸大都市當局者夙ニ之ヲ立案シ監督官廳手輕ク之ヲ認可シ現ニ之ヲ實行シツツアリトス。

重視スヘキ公營問題ニツキテモ亦獨逸ノ法律ハ明示スル所ナシ此宏汎ナル活動範圍ニ就クト否ト又其經營ヲ續クルト否トハ一都市トシテ任意ニ決定シ得ヘシ英國ノ事情ヨリセンカまんちねすたトノ如キ一大都市サヘモ高等法院ニ臨ミ其市街軌道ニヨル小包運搬權請求ノ理由ヲ辯論スルノ必要ニ迫ラレナカラ其權限ヲ否定サレシコトアルカ獨逸ノ市街鐵道中ニハ小包、石炭ノミナラス夜間棺桶ノ運搬ニモ當ルアリ凡テ便宜トスヘキ事情アラハ何物ヲモ運搬ス又しねふふいしるど市ハ瓦斯暖房具ヲ販賣シ得ルヤノ問題決定ノタメ高等法院ニ臨メルコトアルモカカル危險ノ權限ヲ

有セスト決セラレタリ然ルニ獨逸諸都市ニアリテハ荷クモ一物品ノ販賣ニヨリ公共ノ便益ヲ増シ得ヘキ事情アラシカ國會、各省又ハ法廷ノ許シナキモ尙之ヲ販賣シ得ヘシ約言スレハ英國ニ於ケル地方自治當局者ノ權限義務ハ成文法并ニ之ト同效力アル地方令ニヨリ定メラレ之カ伸張モ縮少モ勝手ニ行フヲ許サスト雖モ獨逸ノ地方自治體ハソレ自體ニ關スル法規ノ立案者ニシテ一定ノ度迄ハ又其立法者ナリ。

行政ノ形式ハ右ノ如ク自動的ニシテ屈伸自在ナル自治制ノ原則ヲ認メテ考案セラルルカタメニ獨逸ノ諸支分國ハ英三王國ノ地方省 Local Government Boards ニ相應スルカ如キ特別一省ノ用ナキヲ得素ヨリ自治ノ監督ハ種々ノ方面ニ行ハル乃チ大問題ニツキテハ當該事項ヲ所管スヘキ諸省ニヨリテ行ハレ小問題ニツキテハ元來其監督權ヲ有スル諸官省ハ英國ノ地方省其他商務文部內務諸省ノ如ク直接ニ地方自治體ト折衝スルコトナク監督權ヲ地方長官其他ノ委員ニ委任シ之ヲシテ其監督ニ當ラシム又自治體ト監督官廳トノ間必然起ルヘキ權限爭議ノ問題ハ長期ニ亘リ又巨額ノ費用ヲ要スヘキ普通訴訟手續ニヨリ決セラレスシテ特別ノ行政裁判所ニヨリ決セラル而シテ又國家力其監督權ヲ行使シ自治體ノ事務ヲ妨クル程度ハ監督官廳ト自治體トノ相互關係上示サルル同情及和衷心ノ厚薄ニヨルコト多ク其相互ノ間圓滿ナル限り自治體ノ政務モ圓滑ニ運ハレ監督官廳妄リニ其不認可權ヲ行使シテ自治體ヲ累ハスコトナシ唯此點ニ關スル政府不認可ノ態度カ明カニ政治上ノ理由ニヨリ定マル場合ハ渺カラス普漏西ニ於テハ社會主義者タル市會議員ハ其學歷經驗上如何ニ市學務委員タルニ適セルニ拘ハラス常ニ之カ任命ヲ認可セサルカ如キ其一例ナリ。

英獨制度ノ相違ハ救貧法ノ施行ニヨリ之ヲ例證シ得ヘシ英國ニ於テ此問題ニ關スル政務ハ一貧

ハイス
民院ノ建築ヨリ其收容者ニ給スヘキ肉汁^{ソップ}ノ成分ニ至ル迄、事毎ニ倫敦ナル中央官廳即チ地方省ノ命令ニ從ヒテ行ハルルノ事實ヲ記憶シ英ノ救貧機關 Board of Guardians ノ地位ト獨逸ノ一市廳救貧部ノ地位トヲ比較スルトキハ其間大相違ヲ伺ハシム乃チ後者ハ普通地方行政ノ一部ニ過キサレモ自動的ニ行動シ自テ其政策ヲ環ラシ又之ヲ實施シ外部ヨリ指揮モ助言ヲモ受クルコトナク全ク國家ノ干涉ヲ免カル。

前記ノ相違ヲ説明スヘキ他ノ一例ヲ舉クルコトトセンカ英國ニテハ近來ニ至リ校醫制ヲ布キ貧困兒童養育ノ途ヲ講シ又市街ノ設計ヲ立ツルノ權能ヲ地方自治ノ當局者ニ附與スヘキ特別法制定サレシモ獨逸ニテハ是等ノ事項ハ悉ク古クヨリ當然ノ任務トシテ認メラレ各場合ニ特別立法ヲ要セス自治體自身ノ任意發意ニヨリテノミ行ハル英國ニハ又其土地ニ溫泉、鑛泉アリ住居地又ハ保養地ニ適スルコトヲ世ニ知ラシメント欲スル都市多キモ其廣告費支出ノタメニハ議會ノ協賛ヲ求メ特別法令制定ノ必要アルカタメニ意ノ如ク行動スル能ハス他ノ一面ニ於テ英國民カ好ミテ獨逸ノ鑛泉地ニ趣ク所以ノ一ハ是等諸地方ヲ治ムル自治體當局者カ氣根強ク其浴場ノ特功ヲ廣告シ人ヲシテ其特功ハ他ノ地方ニヨリテハ求メ兼ヌルコトヲ思ハシムルカタメナリ獨逸諸都市ハカク自己ヲ廣告スルカタメニ特別ノ命令又ハ許可ヲ求ムルノ要ナク已レノ欲スルモノヲ欲スル所ニ使用シ得ヘク現ニ又使用シツツアリ。

市ノ境域變更又ハ郊外地ヲ市區ニ編入スルカ如キ重大事項ニツキテモ同様ニ行動ノ便易ハ認メラル唯二都市合併ノ如キ稀有ノ場合ニ付キテハ立法手續ヲ要スルモ其以外ニハ其必要ナシ英國ニ於テカカル場合ニ行フヘキ地方省ノ調査ニ相當スヘキ一調査タニ行ハレス必要ナル點ハ境界變更

又ハ合併ヲ希望セル自治體ハ其諸條件ヲ要式契約中ニ約定スルコトニテ盡サレ政府之ヲ認可スレハ其手續ハ完フセラル。

上述ノ如キ自治ノ大綱ハ獨逸諸都市ノ施政全般ヲ通シテ伺ヒ得ヘキ所唯國家カ原則トシテ自己ノ手ニ留保セル職權假令ハ警察權并ニ特ニ干涉權ヲ留保セル事項假令ハ普通教育以外ニ於テ諸都市カ上級官廳ノ甚シキ制肘ヲ受ケサルハ諸支分國カ其内政ニツキ帝國立法ノ制肘ヲ受ケサルト其趣相似タリ比喩ヲ借リテ言ハンカ共ニ一人前ノ男ニ成長シナカラ獨逸ノ都市ハ男トシテノ自由獨立ヲ享有行使スルニ反シ英國ノ都市ハ尙何時モツキ纏ヒ又煩サキコトモ多カルヘキ保姆 Board above ニヨリ監護セラルト謂フヘシカク獨逸ノ自治制ニハ割合ニ大ナル屈伸自在性ヲ伴ヒ其職分又ハ權能ヲ擴大シ得ヘキ範圍殆ント無制限タリ事情變化シ必要又ハ便宜ヲ告グルカ如キ事項起ラハ直チニ其事ニ當ルノ事實ヲ知覺セル者ハ問問自由制度ノ本土トシテ誇レル英國民カ事實上自治ノ何タルヲ解スルカト訝ルヘシ。

獨逸ニ於ケル地方自治當局者ノ權限及フ所廣キノ事實ハ英國ニ於テ之ヲ知ル者少キヲ以テ初メニ先ツ其事實ヲ揚言シ次イテ其土壁トナレル法埋ヲ紹介スルハ適切ナルニ似タリ即チ此點ニ付普國行政裁判所ニ於テ繰返シ下サレタル判決ハ原則トシテ諸支分國ニモ當テハメ得ヘキコトナルカ一八八六年三月十日ノ同裁判所判決ニヨルニ「普國法ハ一ツトシテ自治體ノ活動ニ付何等確定事項ノ制限ヲ加ヘス自治體ハ特別法ニヨリ一定ノ例外規定セラルルコトナキ限リ其住民ノ精神上經濟上ノ福祉ヲ圖ルノ普通權能ヲ有スカカル法律ナキ限リ自治體ノ權限ト上級政團タル國家ノ權限トノ分界ハ「地方的」ナリヤ否ヤノ商量詳言スレハ自治體ノ諸任務ハ地方的性質ヲ帶フルモノタ

ルヘシトノ商量ニヨリ決定セラル自治體カ自己ノ權限内ニ於テ又自己ノ財力ヲ以テ前記ノ福祉増進ノタメニナシ得ヘキコトハ原則的ノ禁止存セサル限り凡テ之ヲ自治事項ト認メ得ヘシト一八八六年九月二十一日ノ同裁判所判決モ亦右ノ見解ヲトレリ即チ「都市ハ其實力ヲ以テ其事ニ當ル限リ其全市ノ幸福ヲ増シ各住民ノ物質上ノ利益ト智能ノ開發トニ資スヘキ諸事項ヲ以テ凡テ其權限内ニアリト主張シ得ヘク此目的ヲ充タシ公益ニ資スヘキ諸制度諸施設ヲ行ヒ得ヘシ市及市ノ機關カ自ラ抑制シ地方的利益ヲ擁護シ代表センコトヲ勉ムトノ條件充タサル限り其住民ノ精神上經濟上ノ利益ヲ圖リ又其用ニ充ツヘキ經費ヲ支出スルノ普通權能ヲ有ス而シテ右ノ條件ハ恰モ市活動範圍ノ限界視スヘク之ヲ踰越スルハ即チ法律ノ違犯ナリ」ト而シテカカル見解ノ下ニ獨逸諸都市カ現在盡セル義務的及任意的職分時ニ社會増福事業ノ範圍ニ屬スヘキ職分如何ニ宏汎多岐ナルカ今一一之ヲ列舉セス唯獨逸ノ一學者カ「獨逸諸都市ハ歷史上老ヒタルモ活氣アル前進ヲ續クル點ハ若ク現今精神上經濟上社會上ノ進歩ヲ圖ルノ旗手タリ」ト言ヘルコト眞ニ欺カサルヲ傳フルニ止ムト雖モ特ニ茲ニ注意スヘキハ特ニ制限禁止セラルル職分何タルカニ存ス即チ地方自治當局者ノ職分ニ關スル特別制限トシテ少クトモ普國ニシキテ認メ得ヘキハ其議事上地方事項ノ範疇ヨリ逸出スルヲ許サス換言スレハ政治問題ニ關與スルヲ許サストセルコト之ナリ都市條例ニ認ムル禁制ノ文言ハ茫漠トシテ廣キ解釋ヲトリ得ヘキモ實際ニアリテハ右ノ一義ニ解釋セラル輓近ノ都市生活ヨリセハ間間政治問題ト經濟又ハ社會問題トヲ明瞭ニ分界シ難キコトアルモ政府ハ政黨鬭爭ニ亘ルカ如キ一切ノ事項ニ付右ノ禁制ヲ及ホシテ其困難ニ打勝チツツアリ假令ハ普國所得稅收入ノ大部分カ諸都市住民ニヨリ負擔サルルニ拘ハラス普國議會ニ於テ諸都市ヲ代表セル議員ノ

數ハ少キニ過クル事實顯著ナリ而モ尙行政裁判所ハ市當局カ諸都市代表者ノ増員ヲ議會ニ請求スルノ權限ナシト判決セルカ如キ右ノ事情ヲ伺ハシムルニ足レリ。

次ニ地方自治ノ政務中ニハ如何ニ熱心ナル獨逸ノ自治論者モ都市ノ完全自裁ヲ欲セス寧ロ官廳ノ監督ヲ望ムヘキ部分アリ即チ土地家屋ノ所有者市會ニ於テ優勢ヲ占ムルノ狀持續スル間假令ハ建物條例ハ上級官廳ヲシテ制定セシメ地方課稅權ノ行使ニツキテハ或ル程度迄特別官廳ノ認可ヲ受クヘシトスルカ如キ寧ロ安全ノ策ナリ現ニ知名ノ一市政研究家ハ舊テ論シテ曰ク建物條例國家ノ警察機關ニヨリ制定セラルルノ事實アルタメ公衆ハ家屋所有者ノ無制限ナル利益壟斷ヲ免レ得タリ國家ノ官僚政治ハ市街宅地ノ利益ヲ代表スル者ノ制肘ヲ免ルルコト遙カニ市政ノ當局者ニ勝レリト。

次ニ又監督官廳ハ監督權ヲ有スルカタメニ其必要ナキニ之ヲ行使シタメニ往々機械的形式のニ流レ其結果都市ノ自由行動ヲ阻礙シ必要處分ヲ遷延セシムルノ弊全クナシトスルヲ得サルニ似タリカクテ諸都市中現在宏汎ナル職權ヲ行使シツツアルモ一層輕便ニ之ヲ行使スルノ途開ケンコトヲ欲シ特ニ些些タル事項ニ關シ無用ノ制肘ナキニ至ランコトヲ欲スルモノアリ而モ亦此方面ニ於テ急ニ改善スルノ見込ナキニ似タリ諸支分國政府ハ絶エス「分權助長ノ必要」ヲ説クモ其意味ハ地方自治當局者ノ意味スル所ト同シカラス所謂分權ハ諸職務ヲ上級官廳ヨリ地方ノ下級官廳ニ委託スルノ意ニ過キス從ヒテ自治助長ノ主旨ニ悖ルコト多シ。

獨逸地方自治ノ制度上最モ實際的ナル一長所ハ其制度ニ統一アルコトナリ殆ント一切ノ政務ハ一機關ノ掌理ニ集中セラレ其諸職分ハ下級ノ諸機關ニヨリ分掌セラルルニ拘ハラス右最高機關ハ

監督ノ全權ヲ有ス而シテ施政ノ諸職分上右ノ如ク統一アル結果トシテ市民ハ一切ノ市政事項ニツキ一機關ト折衝スルノミニテ事足ルヘク又其施設ハ其一機關ノ便宜ト政務ノ效能増進及費用節約トヲ尊重シテ定メラルルコトナルヘシ。素ヨリ警察權ハ普通ニ國家ニ留保セラル、カタメニ(巴威里ニハ之ト反對ノ特例アリ)變則ノ事例ヲ生シ國家ト市トノ權限爭ヲ生スルハ免レ難ク之ニ大弊害ヲ伴フトハナシ難キモ尙市政改革論者ハ之ヲ見テ歎息シツツアリ假令ハ一都市ノ當局者船渠ヲ造リ運河ヲ開クモ如何ニ之ヲ使用スヘキカヲ自ラ決シ兼スルコトアリ市場ヲ建築スルモ其中ニ於ケル營業取締規定ハ警察ニヨリ定メラルルコトアリ一部ノ大都市ニ於ケル消防隊ニ關スル總經費都市ニヨリ負擔サルルモ其管掌ハ警察機關ニ存スルカ如キ弊ハ即チ之ナリコレ一部ノ國權擴張論者カ特ニ衛生保健ニ關スル事項ニツキ公益ニ反スル行爲ヲ禁制處罰スルノ純消極的職分ヲ警察ニ委テ之ヲ積極的豫防的諸方策ニヨリ公衆ノ健康ヲ増進セシムルノ權限ヲ之ニ附與セサルハ不當ナリト論スル所以ナリ其外又右ノ如ク政權ニ途ニ分ルルノ餘弊ハ國家カ其警察權ヲ留保シツ、之カ行使ニツキテハ普通ニ市長ヲシテ國家ヲ代理セシムルノ狀アルカタメニ一層増進セラル即チ市長ノ地位ハ一面市政ノ長官トシテ市會ニヨリ選ハレ又之ニ對シ責任アルト共ニ他ノ一面ニ於テハ國家ノ代理者タリ一身ニシテ同時ニ民政的職分ト獨裁的職分トヲ具有シ盡シツ、アルノ奇觀ヲ呈ス其外同種ノ弊害ハ國家カ特ニ干涉權ヲ留保セル事項ニツキテモ往々起ルコトアリ官僚主義一般ニ南獨ヨリモ昌ンナル普漏西ニ於テ小學校ノ校舍ヲ社會主義者ノ團體ニ對シ體育用ニ供スルノ可否ニ付市當局者ト監督官廳トノ間ニ爭議ヲ生スルカ如キハ其一例ナリト雖モ之ヲ市政諸機關ノ統一ナキ英國ニ於テ上述ノ如キ變則事例及權限爭議機關相互ノ間ニ起ルコト頻繁ナルニ比スレハ素ヨリ數フルニ足ラス